

第22回 日本生殖内分泌学会学術集会を終えて



会長

前多敬一郎

東京大学大学院
農学生命科学研究科
獣医繁殖育種学
研究室
教授

この度、第22回日本生殖内分泌学会学術集会を平成29年9月30日（土）に沖縄コンベンションセンターにおいて開催いたしました。今回は第4回世界生殖生物学会（WCRB 2017）との共催ということで沖縄で開催させていただきましたが、懸念していた台風の影響もなく晴天に恵まれ、おかげさまで90名のご参加をいただき、盛会のうちに終了することができました。

今回の学術集会では22題の一般演題をご発表いただき、生殖内分泌学領域における質の高い研究内容について活発な討議が行われました。シンポジウムでは「精巣と卵巣の幹細胞」について埼玉医科大学教授の高井 泰先生、基礎生物学研究所教授の吉田松生先生、川崎医科大学准教授の嶋 雄一先生にご講演いただきました。ランチョンセミナーでは「これからの生殖内分泌学を考える」として、徳島大学教授の苛原 稔先生にご講演をいただきました。また前日の9月29日（金）には第4回世界生殖生物学会とのジョイントシンポジウムも開催され、“Control of HPG axis to improve the fertility in animals and humans”のテーマで国内外の3名の先生方（Prof. Toshiya Matsuzaki, Prof. Joy L. Pate, Prof. John S. Davis）にご講演いただきました。この生殖内分泌学会学術集会と国際会議が、会員の皆様にとって新たな研究領域そして異分野の研究者との出会いの場となったなら幸いに存じます。

本学術集会開催にあたりましては、会員の皆様をはじめ、多くの方々のご指導ご支援を賜りました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。日本生殖内分泌学会の今後のますますの発展を心よりお祈り申し上げます。

第22回日本生殖内分泌学会学術集会 会長

前多 敬一郎（代理：事務局長 松田 二子）

東京大学大学院農学生命科学研究科獣医繁殖育種学研究室

前多敬一郎先生におかれましては平成30年2月3日に急逝されました。
ご生前の日本生殖内分泌学会への多大なるご貢献に感謝し、ご冥福をお祈り申し上げます。